

(様式 11)

2022 年 2 月 17 日

## 学 位 論 文 審 査 要 旨 (課程博士)

東京農工大学大学院工学府長 殿

審査委員 主査 野村 義宏  
副査 千年 篤  
副査 武内 進一  
副査 山本 佳世子  
副査 香取 浩子  
副査 草处 基

学位申請者	共同サステナビリティ研究専攻 2019 年度入学 学籍番号 19835004
	氏 名 陳 創斌
申請学位	博 士 (学 術)
論文題目	Empirical Studies on Current Situations and Challenges of Use of Waste Cooking Oil and Its Sustainable Reuse Strategy in China
論文審査要旨 (600～700 文字)	
<p>本研究は、中国における地溝油 (WCO) の現状と課題に関する実証分析結果を取りまとめたものである。具体的には、1) WCO の違法利用の決定要因、2) バイオディーゼル生産企業の価値とその社会的責任 (CSR) 活動の関係性、3) WCO ベースのバイオディーゼル生産技術に関する研究の方向性という 3 つの実証分析を行った。</p> <p>主な分析結果は以下のとおりである。第一に、China Judgement Online から収集・整理した 152 件の判例に関するデータを用いて、内容分析及びグラウンデッド・セオリー分析を行った結果、WCO 違法利用は主に法的な抜け穴、食品衛生検査員、消費者の自己防衛意識に拠るものであることが明らかになった。第二に、16 バイオディーゼル生産企業を対象にして、企業の社会的責任 (CSR) 活動と企業の価値の関係性を分析した結果、両者の間には明確な関係性が存在しないことが示された。第三に、2000 年から 2020 年における Web of Science Core Collection データベースから抽出した計 2,750 の関係文献データを用いて計量書誌学的分析を行った結果、今後の有望な研究分野はライフサイクル・アセスメント、リパーゼ、超音波及び脱酸素化に関する技術であることが示された。</p> <p>中国の WCO 問題に関する既存文献では十分とはいえない実証的根拠にもとづき、</p>	

(様式 11)

#### 論文審査要旨

WCO 利用実態と発展の方向性を示した本研究は、当該問題に関する理解の深化に貢献するとともに、今後の WCO 再利用に向けて興味深い政策的含意を提示するものである。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士（学術）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。

#### 審査経過（時系列）

2021 年 12 月 16 日 2022 年 3 月博士後期課程修了に係る学位申請

2022 年 1 月 12 日 審査委員の選出・指名・付議、論文審査委員の付託（運営委員会）

2022 年 1 月 27 日 学位論文発表会

2022 年 2 月 17 日 本専攻内における博士学位取得要件「本共同専攻の教育課程において 16 単位を修得し、必要な研究指導を受け、国際的な学術誌に英語の論文あるいは日本学術会議に登録されている学術研究団体が発行する査読のある学術誌に論文が一篇受理され、博士学位請求論文の審査及び最終試験に合格すること」を満たしていることを確認の上、専攻会議で論文合格及び最終試験合格を承認

2022 年 2 月 24 日 工学府共同サステイナビリティ研究専攻農学系学位論文審査委員会で承認

2022 年 3 月 4 日 学位授与認定・修了認定（運営委員会）